



ミシェル・モラゲス



リカルド・クロッシーラ



須川 展也



イエルン・ベルワルツ



ラーシュ・カーリン



ジーン・ポコーニー



篠原拓也



古谷拳一



國末貞仁



泉谷絵里



菊本和昭



高橋将純



齊藤一郎



ヤマハ吹奏楽団

第31回 浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル

Opening Concert

2025 8.4 月 オープニングコンサート アクトシティ浜松 中ホール

開場 18:15 開演 19:00 一般 ¥4,000 高校生以下 ¥1,500 (税込) [全席自由]

木管五重奏 (M.モラゲス、篠原拓也、R.クロッシーラ、古谷拳一、高橋将純)

3つの小品 イベール

ユーモレスク ツェムリンスキー

サクソフォン二重奏 (須川展也、國末貞仁、泉谷絵里)

ニュー・シネマ・パラダイス メドレー モリコーネ / 山口景子

パガニーニ・ロスト 〜2本のアルト・サクソフォンとピアノのための〜 長生淳

金管五重奏 (J.ベルワルツ、菊本和昭、高橋将純、L.カーリン、G.ポコーニー)

組曲「こどものサーカス」より 小さなサーカス・マーチ ケッツァー

6つの楽章 ラモー

ノルウェー舞曲第2番 グリーグ

ヤマハ吹奏楽団特別編成 (齊藤一郎、アカデミー教授陣、ヤマハ吹奏楽団)

生きる歓び ブートリー

コロニアル・ソング グレインジャー

交響詩「ローマの松」 レスピーギ / 鈴木英史

G.ポコーニーによる特別講座

8.7 木

アクトシティ浜松コンgresセンター41会議室

開場 18:30 開演 19:00

一般 ¥1,000 学生以下 無料(要整理券・全席自由)

「音楽家人生における指標、よき出会い、そして…
〜プロ演奏家人生50年で学んだ事とは?」

本アカデミー講師のG.ポコーニー氏が語る、音楽家人生50年の振り返り、目指していたものや自身の人生に影響を与えた出会い、そしてそれらを踏まえての今後の人生展望。
ここ浜松でしか聞けない貴重な特別「授業」をぜひお見逃しなく!

教授陣と受講生による アンサンブルコンサート

8.8 金

クリエート浜松 ホール

開場 18:00 開演 18:30

無料(要整理券・全席自由)

※整理券は、5月15日(木)からアクトシティチケットセンターにて配布。
※出演者、曲目、曲順は変更になることもございます。予めご了承ください。
※未就学のお子様のご入場はご遠慮いただいております。

チケット取扱い

チケットぴあ <https://t.pia.jp>
Pコード:298-308(オープニングコンサートのみ)
アクトシティ浜松チケットセンター
ヤマハミュージック 浜松店 TEL.053-454-2770
(株)久米 TEL.053-433-2536
(株)バルドン楽器 TEL.053-473-0256

チケット発売開始

アクトシティ浜松友の会
5月11日(日)10:00〜
一般
5月15日(木)10:00〜

お問い合わせ

(株)オーバス・ワン TEL.03-5577-2072

(公財)浜松市文化振興財団 文化事業課 TEL.053-451-1150

公式サイト

<https://hamamatsuwindacademy.com>



HCFオンラインショップ
<http://www.hcf.or.jp/>

主催 浜松市、公益財団法人浜松市文化振興財団、ヤマハ株式会社、一般財団法人ヤマハ音楽振興会

後援 静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、朝日新聞静岡総局、読売新聞浜松支局、毎日新聞静岡支局、時事通信社浜松支局、テレビ静岡、静岡朝日テレビ浜松総支社、静岡第一テレビ、K-MIX、FMHarol、一般社団法人日本フルート協会、一般社団法人日本クラリネット協会、日本サクソフォン協会、日本トランペット協会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニウム・チューバ協会、イタリア大使館、スウェーデン大使館、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、駐日ベルギー大使館

世界のトップアーティストによる夢の共演

フルート
Flute



CHRISTOPHE ABRAMOWITZ

ミシェル・モラゲス フランス国立管弦楽団第二ソリスト
1989年よりフランス国立管弦楽団第二ソリストをつとめている傍ら、パリ国立高等音楽院にて室内楽クラスの教授、またパリ国立地方音楽院にてフルートの指導にあたる。1979年、フルート演奏と室内楽クラスで1位を獲得。1978年パリ国際ソリストコンクール、1981年にはブダペスト国際コンクールで入賞。室内楽奏者として、1980年にミシェルの兄弟であるピエールとパスカル、またダヴィッド・ワルター、パトリック・ヴィレールと共に、モラゲス木管五重奏団を結成。現在は、モラゲス木管五重奏団と共に室内楽音楽祭を主宰している。

クラリネット
Clarinet



RICCARDO CLOSSIER

リッカルド・クロッシーラ フィレンツェ五月音楽祭管弦楽団首席
1996年からZ.メータの率いるフィレンツェ五月音楽祭管弦楽団で首席クラリネット奏者を務める。室内楽奏者としても、トリオ・ディ・バルマ、アンドラーシュ・シフ率いるカペラ・アンドレア・バルカなど、著名な国際的アーティストと共演し、世界中でツアーを行っている。ソリストとしても、フィレンツェのヴェッキオ宮殿でのZ.メータ指揮によるモーツァルトのクラリネット協奏曲や、エミリア・ロマーニャ音楽祭、ミッテル・フェスト、リュブリャナ音楽祭に出演するなど精力的に活動している。

サクソフォン
Saxophone



HIROSHI HOSONO

須川 展也 東京藝術大学招聘教授
日本が世界に誇るクラシカル・サクソフォン奏者。長きにわたり、現代を代表する作曲家への委嘱を継続し、クラシカル・サクソフォンのレパートリーを開拓し続けている。国内外の著名オーケストラと多数共演。30ヶ国以上で公演やマスタークラスを行う。東京藝術大学卒業。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクール最高位受賞。02年NHK連続テレビ小説「さくら」テーマ曲演奏。最新CDは自身初の無伴奏作品となる「パッサ・シークェンス」(R2文化庁芸術祭優秀賞)。東京佼成ウインドオーケストラ・コンサートマスター(89-10年)、ヤマハ吹奏楽団常任指揮者(07-20年)を歴任。トルヴェール・クワルテットのメンバー。

オーボエ
Oboe



NAOKI HIROSE

篠原拓也
東京音楽大学音楽学部を首席で卒業。在学中、特待奨学生に選ばれる。第9回東京音楽コンクール木管部門第2位。第22回シュガー・ホールオーディションにてオーボエ初のグランプリを受賞。これまでに小澤征爾音楽塾オーケストラプロジェクトII、オペラプロジェクトXII、XIII、XIV、サイトウキネンフェスティバルin松本「子どものための音楽会」「青少年のためのオペラ」等に参加。日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、富士山静岡交響楽団等とコンチェルトを共演。オーボエを姫野徹、荒絵理子、宮本文昭の各氏に師事。現在、富士山静岡交響楽団首席オーボエ奏者。

ファゴット
Bassoon



KENJI KIKUCHI

古谷拳一
千葉県立幕張総合高等学校を経て、東京藝術大学に進学。在学中にアカンサス賞および同声会賞を受賞。卒業後はスイス文化庁の奨学生としてチューリッヒ芸術大学大学院に進学し、ソリストコースを満場一致の最高点で修了。留学中にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のカラヤ・アカデミーのオーディションに合格。ベルリン・フィルの一員として演奏を行った。現在は、読売日本交響楽団首席ファゴット奏者およびJapan National Orchestraメンバー。スイス・ムーリ国際ファゴットコンクール優勝の他、ブラハの春国際音楽コンクール第2位、Pacific Quintetとしてはミュンヘン国際音楽コンクール、カール・ニールセン国際コンクールなど入賞多数。

サクソフォン
Saxophone



TETSU KIKUCHI

國末貞仁
東京藝術大学を経て、同大学院修士課程修了。第4回若手奏者のためのコンペティションデュオ・室内楽部門第1位。第22回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門第3位。第3回ブルー・ボラリス賞優秀個人受賞。平成21年度香川県文化芸術新人賞受賞。現在、Quatuor B、Trio YaS-375、Saxaccord、シュビール室内合奏団、Brass Exceed Tokyoの各メンバーとして、またサキソフォックスのラウールくんのお友達プレイヤーとしても全国各地で活躍中。洗足学園音楽大学、京都市立芸術大学非常勤講師。また、高松市観光大使としてふるさとのPRにも力を注いでいる。國末貞仁公式WEBサイト <https://www.saxkunisie.com/>

ピアノ
Piano



AYANE SHINDO

泉谷絵里
札幌市出身。昭和音楽大学ピアノソリストコースを特別賞を得て首席で卒業。読売新人演奏会出演。在学時よりコンチェルト定期演奏会でソリストを務めるなど数々の演奏会に出演。卒業と同時に同大学伴奏研究員に着任。あらゆる楽器とのアンサンブルを重ねる。ソロでも研鑽を積み、国内外の演奏家と多数共演を重ねる。音楽祭やコンクールの公式ピアニストを務めるなどアンサンブルピアニストとして活動している。現在、昭和音楽大学・同短期大学・同大学院ピアノ及び伴奏非常勤講師。

トランペット
Trumpet



EELUN BELWALS

イエルーン・ベルワルツ ハノーファー音楽演劇メディア大学教授
ベルギー出身。卓越した技術と繊細な音楽性で世界的に高く評価されており、バロックから現代音楽、ジャズに至るまであらゆる時代のレパートリーを探索している。NHK交響楽団、ウィーン交響楽団、スウェーデン放送交響楽団、NDR交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団、コンツェルトハウス管弦楽団ベルリンなどの世界的なオーケストラと協演。シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、BBCプロムス、日本の武生国際音楽祭など国際的な音楽祭にも定期的に出演。2008年からは、ハノーファー音楽演劇メディア大学の教授を務める他、ロンドンの王立音楽院の「プロフェッサー・イン・レジデンス」として後進の指導にあたる。

トロンボーン
Trombone



RASHA CARLIN

ラーシュ・カーリン デンマーク国立交響楽団ソロトロンボーン
スウェーデン出身。2020年よりデンマーク国立交響楽団(デンマーク)のソロトロンボーン奏者に就任。12歳でトロンボーンを始め、ボルレンゲ音楽学校、ファルン音楽院、ストックホルム王立音楽院、ハノーファー音楽演劇大学、ベルリン音楽芸術大学で学ぶ。これまでに2008年リエクサ国際トロンボーンコンクール、2010年アイオロス国際管楽器コンクール、2011年ドイチュ音楽コンクールなど、国内外の音楽コンクールで入賞する。2018年にパストロンボーン奏者トメル・マシコフスキーと共に「Sliding thru the opera」を結成し、活躍の場を広げている。

チューバ
Tuba



ZEEV POKKER

ジーン・ポコーニー シカゴ交響楽団首席
イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、ユタ交響楽団、セントルイス交響楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニックの首席チューバ奏者を歴任。1989年からシカゴ交響楽団の首席チューバ奏者。オーケストラ活動のない時には世界各地の音楽祭における指導やソロリサイタルを行っている。現在、ルーズベルト大学、ノースウェスタン大学、ポコーニー・ロー・プラス・セミナーで講義や指導を行っている。ユニオン・パシフィック鉄道歴史協会およびユニオン・パシフィック・スチームクラブのメンバーという鉄道マニアの一面も持つ。

トランペット
Trumpet



KAZUHIRO KIKUCHI

菊本和昭
NHK交響楽団首席トランペット奏者。京都市立芸術大学及び同大学院首席修了。フライブルク音楽大学、カールスルーエ音楽大学にて学ぶ。2002年日本管打楽器コンクール第1位、2003年日本音楽コンクール第1位及び増沢賞・E.ナカミチ賞・聴衆賞受賞。2006年、済州プラスコンペティション第2位(1位無し)。2008年、E.スミス国際トランペットソロコンペティション第2位。2004年、京都市交響楽団に入団。これまでにトランペットを早坂宏明、有馬純昭、A.ブログ、R.フリードリッヒ、Dr.E.H.タール各氏に、室内楽を呉信一氏に師事。大阪音楽大学客員教授。

ホルン
Horn



TAKAHIRO TAKAHASHI

高橋将純
宮城県仙台市出身。武蔵野音楽大学、チューリッヒ芸術大学卒業。2002年東京文化会館新進音楽家オーディションに合格、同デビューコンサートに出演。第77回日本音楽コンクールホルン部門入選。2008～2009年ヴェルビエ音楽祭管弦楽団メンバー、2010～2014年テコロ音楽祭管弦楽団ソロホルン奏者。2014年より大阪フィルハーモニー交響楽団首席ホルン奏者。大阪芸術大学、相愛大学非常勤講師。これまでにホルンを木下資久、田中正大、丸山勉、ラドヴァン・ヴラトコヴィチ、ナイジェル・ダウニング、ヘルマン・パウマンの各氏に、ナチュラルホルンをグレン・ボーリング氏に師事。

指揮
Conductor



KAZUO SAITO

齊藤一郎
東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。安宅賞受賞。指揮を伊藤栄一、遠藤雅古、岩城宏之、若杉弘、湯浅勇治、佐渡裕、P.デシュバイ、L.ハーガー、E.アツツェルの各氏に師事。文化庁新進芸術家海外研修員として欧州留学。NHK交響楽団アシスタントコンダクターを経て、セントラル愛知交響楽団常任指揮者、同首席客演指揮者、京都フィルハーモニー室内合奏団音楽監督を歴任。古典から現代まで幅広いレパートリーを持ち、音楽界の巨匠の再評価を行う。2024年、團伊玖磨生誕100年記念コンサートを指揮。読売日本交響楽団、東京混声合唱団と共演して高い評価を得た。名古屋音楽ベンクラブ賞、佐川吉男音楽賞奨励賞等を受賞。越前おおのブランド大使。

ヤマハ吹奏楽団

1961年に創部したヤマハ吹奏楽団は、ヤマハグループの従業員によって構成され、楽団員の多くはヤマハの管楽器や打楽器づくりに携わり、楽器を知り尽くした「匠のバンド」とも称されています。これまでにアメリカ、韓国、カナダなど海外でも活動の幅を広げるほか、国内では2024年「全日本吹奏楽コンクール」において、通算36回の金賞受賞。2020年には創立60年記念公演をザ・シンフォニーホールで開催し好評を博しました。また、永年にわたるこれらの活動に対し、1995年に「第34回静岡文化奨励賞」、2010年に「第20回日本管打・吹奏楽アカデミー賞」を受賞し、日本の吹奏楽界のなかでも半世紀を越える歴史をもつ吹奏楽団として精力的に活動しています。